

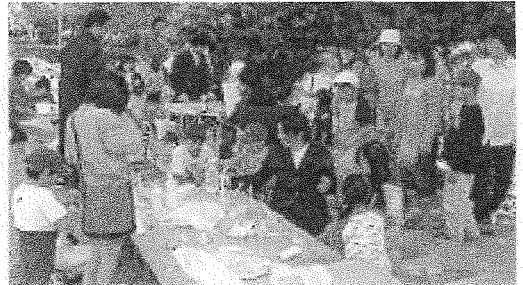
8月あそびのレシピ

～夏休みの企画のヒント・こんな形のつどいの方法も～

松田 道雄 氏 (だがしや楽校発案者)「だがしや楽校」ホームページより転載
アドレス <http://www.dagashiya-gakko.com>

① “だがしや楽校” って、なに？

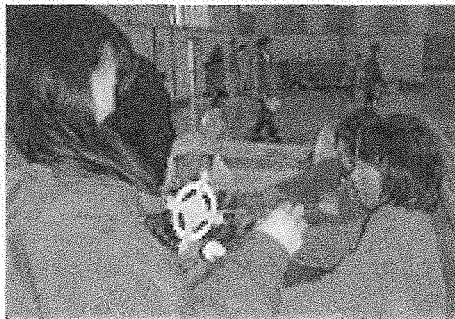
だがしや楽校とは、お祭り屋台の形式で、だれもが手軽に「趣味・特技・遊び・学び・作品」などを「みせ（見せ・店）」る集いです。



②なぜ、“だがしや” って、つけるの？

かつて、地域社会の中にあつた放課後の駄菓子屋（子どもみせ）世界からアイデアを得ているからです（子どもがいるところ、世界中に子どもみせ文化があります）。子どもたちが楽しむ遊びと玩具、仲間との分け合い、おばあちゃんとの会話……。そここそ、実際に社会力を育む場でした。

③なぜ、“楽校（がっこう）” って、つけるの？



「だがしや楽校」を始めたのも、今も子どもたちが集まる駄菓子屋の前の公園からです。

学校では学びづらいことを学び、学校とは異なるスタイルで学ぶ「もう一つの自由な学びの場」という意味があります。また、遊びからも学ぶので「楽しい学びの場」という意味もあります。

「だがしや楽校」は、学校での「読み・書き・計算」とはまた別に、実社会での「しつけ・創意・つきあい」を育む集いです。

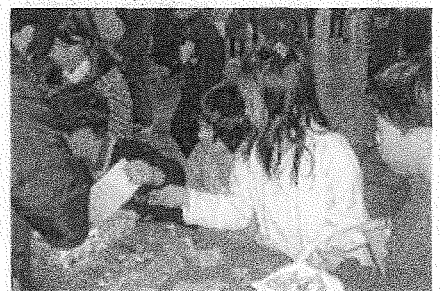
④通常のイベントと“だがしや楽校”との違いは？

「見る」から「見せる・する」集いへの転換。

人を混ぜる、人に混ぜる。物売りあり、ボランティアあり、遊びの多様の共生。だんどり簡単。それゆえ、そこには、たくさんの滋養物が含まれます。

⑤だれでも・どこでも・いつでもひらける“だがしや楽校”こと始め

- (い) 場所さがし。(近くで気軽に集まりやすい場所・トイレ、駐車場もあるといい)
- (ろ) 屋台を出してくれる人・団体を募る。(自主参加)
- (は) 貼り紙が簡単なチラシで日時・内容を知らせる。(無理しない・手間かけない)
- (に) 参加者の責任で行う。(中学生以下は保護者の責任で)
- (ほ) ビールケースとベニヤ板で「みせ」ひらき。(あるものを利用する)
- (へ) 「みせ」の中に「駄菓子屋台」は入れる。(飲食の自由、玩具)
- (と) 定期市がのぞましい。(口コミがきく)



*詳しくはホームページや関連書籍をご覧ください。